

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	体育施設管理委託事業				担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	スポーツ推進課			
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	スポーツ推進係			
	総合計画 新基本計画	施策等	4 教育文化		14 スポーツ		2 スポーツ施設を計画的に整備します				
			重点事業		実施計画事業						
	予算区分	款	10	項	6	目	2	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	スポーツ施設の設置及び管理に関する条例									
	目的	何・誰を対象に	スポーツ施設利用者								
		どの様な状態にするのか	指定管理者の導入により、市民ニーズへの的確な対応や効果的で柔軟な施設運営を図る。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆27年度実施内容 施設の指定管理委託事務、モニタリングの実施、是正事項の指導等を行った。 指定管理者 温水プール: (株)愛知スイミング、他の体育施設: (公財)小牧市体育協会</p> <p>◆27年度直接経費の内訳 温水プール施設管理委託料(194,482千円) スポーツ施設管理委託料(172,493千円) スポーツ公園運動施設管理委託料(214,359千円)</p> <p>※その他財源: さかき運動場使用料5,086千円、南スポーツセンター使用料4,463千円、大輪体育館使用料1,308千円、総合運動場使用料4,850千円、温水プール使用料79,835千円、堀の内体育施設使用料141千円、総合体育館使用料56,819千円、市民スポーツ教室受講料3,405千円、資料複写代金70千円、広告料収入25千円、自販機光熱水費負担金300千円、</p> <p>◆28年度直接経費の内訳 温水プール施設管理委託料(206,251千円) スポーツ施設管理委託料(192,882千円) スポーツ公園運動施設管理委託料(241,194千円)</p> <p>※その他財源: さかき運動場使用料4,367千円、南スポーツセンター使用料4,512千円、大輪体育館使用料1,251千円、総合運動場使用料4,939千円、温水プール使用料78,907千円、堀の内体育施設使用料169千円、総合体育館使用料56,482千円、市民スポーツ教室受講料5,625千円、資料複写代金84千円、広告料収入24千円、自販機光熱水費負担金338千円、</p>									
受益者負担	有	さかき運動場、南スポーツセンター、大輪体育館、総合運動場、温水プール、堀の内体育施設、総合体育館の使用料、市民スポーツ教室受講料、資料複写等代金、自販機光熱水費負担金、広告料収入									

			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	566,120	588,467	581,334
正職員			従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,100	1,100	1,100	1,100
その他職員			従事者数	人	0.00		0.00	0.00
			人件費	千円	0		0	0
費用合計			千円	567,220	589,567	582,434	641,427	
対前年比		%		103.9	98.7	110.1		
財源	一般財源		千円	417,943	438,844	426,132	484,729	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	149,277	150,723	156,302	156,698	

業 績	活動指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	指定管理導入施設	施設	目標	10	10	10	9
			実績	10	10	10	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	施設利用者数 (温水プールを除く)	人	目標	815,000	815,000	815,000	815,000
			実績	1,020,488	794,483	803,382	
温水プール利用者数	人	目標	210,000	210,000	210,000	210,000	
		実績	232,803	234,179	244,650		

事業の自己評価	平成27年度の実施結果		事業の達成状況		施設の利用者数は、概ね目標を達成した。
	事業実施における課題				平成30年度に、パークアリーナ小牧で全国高等学校総合体育大会を開催するので、指定管理者の(公財)小牧市体育協会と大会開催にあたり、設備などの問題点を整理する必要がある。
	事業を縮小・廃止したときの影響				施設の利用促進が図れないことや指定管理者制度の目的である最小の経費で最大の効果が図られない。
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)			夏休み期間中に、温水プールで幼児から小学生を対象の水泳教室を実施します。
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
		判定理由	利用者数は横ばいであるが、目標は概ね達成しているので、指定管理者によって利用促進が図られた。		
		29年度以降の改善案	平成30年度の全国高等学校総合体育大会の開催に向けて、必要な施設の修繕を実施する。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 引き続き指定管理者のモニタリングに努め、利用者アンケート結果を活かすなど利用者の満足度が高まる施設運営に努めること。